

演奏で被災者勇気付けて

消防音楽隊に楽器寄贈

ミュージックデフとジエン

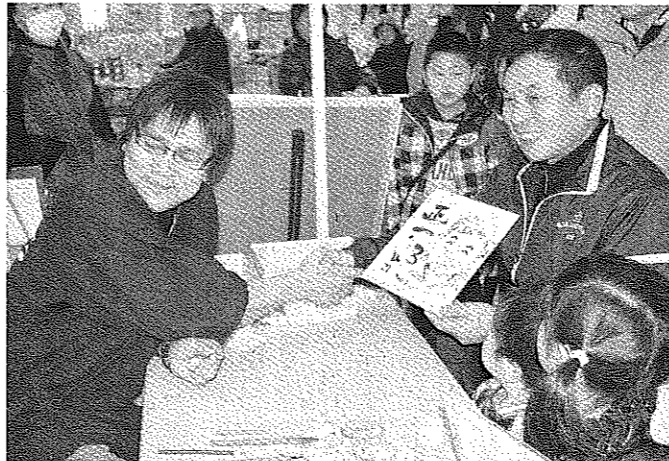
東日本大震災で楽器の一部を失った石巻地区消防本部の消防音楽隊に9日、東京都の財団法人「ミュージックデフ」から楽器が贈られた。同音楽隊は「夢や元気を与える演奏をしていきたい」と話し、善意に感謝している。寄贈したのは、音楽家の社会貢献をする財団「ミュージックデフ」の「JEN」(特定非営利活動法人)「ジエン」の同。サクソフーンやフルート、クラリネットなど計10点を支援。購入資金240万円はミュージックデフが進める震災支援活動に賛同した人気ロックバンド「GLAY」(グレイ)のCDの売り上げなどを充てた。



星消防長(右端)らに楽器が手渡された

消防音楽隊は消防職員らで構成。「火の用心を音楽に託して」をスローガンに演奏を通して防火思想の普及をしている。しかし、津波で楽器の一部とユニホームが被災し、練習や演奏活動が出来なくなっている。消防本部で開かれた贈呈式では、ミュージックデフの長島美紀事務局長らから星幸三消防長らに楽器が手渡された。長島事務局長は「演奏で被災者を勇気付けてもらえれば私たちも幸いだ」とあいさつ。ジエンの河田卓東北事業部長は「音楽には人をつなぎ元気にする力がある。すばらしい音楽を届けてほしい」と期待を込めて話した。

1人5分で来場者の笑顔を描いてプレゼントするやまだとしおさん(左)



大勢の市民が訪れる「笑顔をプレゼント」11日までイオンモール石巻

哀愁漂う調べに酔う

クミコさんコンサート
シャンソン歌手のクミコさんの「心の復興コンサート」が7日、プレナホールで開かれた。250人の観客が哀愁漂うシャンソンの調べに酔い、涙を流した。震災後一度、石巻地方を訪れ被災者たちを元気づけていた。昨年9月には、津波で被災した石巻市中央の楽器店「サルコヤ」



クミコさんは昨年3月11日、コンサートを開く予定だった石巻市民会館で東日本大震災に遭遇。会館の裏山に避難し一晩を過ごした。震災後も度々、石巻地方を訪れ被災者たちを元気づけていた。

身元不明者の供養祭



震災による東松島市内の犠牲者で、身元不明のままになっている遺骨の供養祭が9日、同市大塩の遺体安置所(旧河南地区衛生センター跡地)で営まれた。11日に震災1周年を迎えるにあたり、市内の住職有志らが催した。一般には案内せず、

市関係者や市議、犠牲者の仮埋葬にかかわった人ら40人が参列。十数人の住職による読経が捧げられ、参列者が身元不明者のめい福を祈った。遺体安置所には最大で64体の身元不明遺体を安置していたが、DNA鑑定などが進み、現在は19体。ただ、遺骨を引き取る遺族がない無縁者も相当数いるとみられる。市内では依然、51人が行方不明。市は全員が発見され、身元が判明するまで、捜索と安置を続けることにしている。

東松島市の住職有志
東松島市体育協会 島市スポーツ少年団 同表彰式が先日、赤井市民センターであった。長年にわたって指導者として活動した人や各種大会で成績を残した選手らを表彰した。市スポ少は勲功賞で16の個人と団体を、功労賞は11人をそれぞれ表彰した。市体育協会は3人に体育功労章を、20人に体育功労章を贈った。



各種大会で優秀な成績をおさめた選手らをたたえた表彰式

おむすびとうさし



市スポ少は勲功賞で16の個人と団体を、功労賞は11人をそれぞれ表彰した。市体育協会は3人に体育功労章を、20人に体育功労章を贈った。



各種大会で優秀な成績をおさめた選手らをたたえた表彰式